

1 学期終業式 校長の話

- 皆さん、こんにちは。1 学期が終わるにあたり話をします。

- 今学期は新型コロナウイルスの影響で、学校が休校になったり、インターハイが中止になったり、夏季スポーツ大会が中止になったりなど、大変な1 学期でした。
- 部活をやってダメ、手を洗いなさい、密を避けなさいなど、様々な制約の中で生活を送らなければならず、皆さんのストレスや不満も相当蓄積されているものと推察されます。
- しかし、こういった状況下であります、東高の生徒の皆さんが、授業はもとより部活動においても生き活きとして取り組んでいることに、私はとても嬉しく思います。例えば、7月28日付け福島民報新聞には「福島東、上位独占」のタイトルで陸上部の活躍が出ていました。野球部も現在、快進撃を続けています。
- 私は、皆さんが授業に真剣に取り組んでいる姿や部活動での活躍を見るたびに、さすが福島東高校は違うな、と感じる毎日でした。
- 今日は1 学期の終業式ですが、私は4月に福島東高校に赴任したばかりですので、私が東高の好きな所を五つ挙げたいと思います。

- 第一に、素直で直向きに頑張っている皆さんです。
- 次に、あいさつがきちんとできることです。
- さらに、校内に展示してある皆さんが作成した絵や書道の作品です。
- また、先生方が情熱を持って皆さんの指導にあたっていることも好きな所です。
- 最後に、漠然としているかもしれませんが、東高の学校全体の雰囲気大好きです。それは、皆さんが勉強や部活動をすることで醸し出している雰囲気です。まさに輝いている学校という感じがします。

- もちろん他にもたくさんありますが、以上の五つを皆さんにお伝えしました。

- 次に、皆さんに二つお願いがあります。

- 一つは、何故学ぶのか、何故勉強するのかを絶えず自分に問いかけてほしい、ということです。今さらこんなことを訊かないでほしいと思うかもしれませんが。
- 学ぶのは、頭が良くなるためですか。大学に合格するためですか。自分の就きたい職業のことを考えてですか。
しかし、そのような学びは頭が良くなったら、終わってしまうんですか。
大学に合格したら学びは終わってしまうんですか。
そうではないよね。我々はいつまでも学ぶ必要があると思います。それって何故なの。
- これは、一人ひとり答えが違うと思います。もしかして、いつまでも明確な答えが見つからないかもしれません。しかし、絶えず自分自身に問いかけをしてください。
- ちなみに、私自身の何故学ぶかの問いかけの答えは、幸せになるためです。

- 私は、学びは幸せにつながるものだと思います。そうでなければならぬと考えています。皆さんは、どう考えますか。

- もう一つは、命のことを考えてください、ということです。
- 何故この話をするのかというと、毎年、多くの高校生が、自らの手で死を選んでしまう現実があるからです。ここ何年かは日本全国で毎年200名以上の高校生が自らの手で命を絶っています。
- しかも、この夏休み後の8月末から9月にかけて多くなる傾向にあります。
- 誰でも命の大切さは十分に理解しているはずですが、自分で死を選ぶなど考えもしないかもしれません。
- しかし、友人関係での悩み、いじめの問題、勉強の悩みなど様々な理由から、自ら死を選んでしまっているのです。そして、自ら死を選んだ人たちも命の大切さは十分に分かっていたはずなのです。でも、死を選んでしまっているのです。
- 私は、この学校から自らの命を絶つ生徒がもちろん出て欲しくはありません。
- 皆さん一人ひとりが、この世に生を受けた掛け替えのない大切な存在です。そんな大切な存在を失うことなど考えられません。
- 是非、普段から命について考えてほしいと思います。
- そして、普段から言葉を大切に生活を送りましょう。
- 自分が発する何気ない言葉が、相手を励まし勇気づける場合もありますが、逆に、相手を一生涯に渡って傷つけてしまう場合もあります。
- 毎日の生活の中で言葉を大切にしてください。

- では、今日で1学期が終わり明日から夏休みとなりますが、夏休みといっても課外授業や部活動等、皆さんにとって、やらなければならないことがたくさんあると思います。
- どうか充実した夏休みにしてください。
しかし、1学期は様々なことがあり精神的に相当疲労が蓄積しているはずですが。十分な休養をとることも忘れないでください。
本を読むのもいいかもしれません。村上春樹、朝井リョウ、平野啓一郎等の小説がお勧めです。

- 以上で、校長の話を終わります。